

♪ ようこそ！吉野熊野国立公園へ♪

2月に宇久井半島で見られるなかまたち！



「サギ科 クロサギ」

留鳥。全長 58cm。雌雄同色。黒色型と白色型がある。1羽かつがいで行動し、特に磯の水辺でよく採食する。



「シギ科 イソシギ」

留鳥。全長 20cm。雌雄同色。体下の白色が胸側部分に入り込んでいるのが特徴。腰を上下に振って歩く。



「メジロ科 メジロ」

留鳥。全長 12cm。雌雄同色。つがいで行動する。鮮やかな黄緑色のからだと目の周りの白いアイリングが特徴。



☆「バラ科 カワツザクラ」☆
オオシマザクラとカンヒザクラの自然交雑で生まれた日本原産の栽培品種。園地のものは植栽されたもの。



「アカネ科 オオアリドオシ」
林下に生える常緑小低木。「一両」の名で親しまれているアリドオシよりも葉が大きく刺は葉の半分以下の長さ。



「マメ科 ハマエンドウ」
海岸に生える海浜植物。まれに内陸部の湖岸でも見られる。果実は痩せていて食用には向かない。



「ユリ科 ウバユリの新芽」
山中の木陰に生える多年草。みずみずしい新芽が目立つ。山間部では食用にされることもある。



「サトイモ科 ウラシマソウの新芽」
山地の湿地に生える多年草。かたまって生えていることが多い。葉は1枚で、11~17枚の小葉からなる鳥足状複葉。



「アブラナ科 ハマダイコン」
海岸の砂地に生える越年草。ダイコンが野生化したものと言われていたが渡来した野生種の可能性が高い。

☆印はビジターセンター周辺でも咲いているので、車イスで見に行くことも出来ますよ♪
地…地玉の浜で観察することができます。

宇久井半島では、日差しがだんだん暖かく感じられるようになりました。
園地内を散策して春を見つけに来て下さい♪みなさまのお越しをお待ちしております♪

※ごみは持ち帰りましょう！
※畑に無断で入らないようにしましょう！
※植物や生き物を大切にしましょう！

宇久井ビジターセンター
2022年2月後半号



吉野熊野国立公園 宇久井半島

冬版

フェリーターミナル方面
通行できません

＜散策時間の目安＞

- ビジターセンター～地玉の浜コース (片道約15分)
① → ② → ④ → ⑤ 約700m
- ビジターセンター～駒ヶ崎灯台コース (片道約25分)
① → ② → ③ 約900m
- ビジターセンター周回コース (一周約40分)
① → ② → ④ → ⑥ → ① 約1200m
- ビジターセンター～千尋の浜コース (片道約20分)
① → ⑦ → ⑧ 約1200m
- ビジターセンター～外の取コース (片道約20分)
① → ⑦ → ⑨ 約1200m

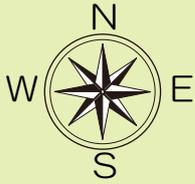
クロサギ
ミサゴ
ヒドリガモ
マガモ



アメリカヒドリ
カルガモ

千尋の浜

(上地の浜)



至 R42

セグロカモメ
ウミネコ

自然観察の森

上野展望台

防空監視哨

マルバウツギ

オガタマノキ

蛭子神社跡地

ヤブコウジ

ヤブツバキ

ヒサカキ

モチノキ

ヤマモモ

ツルコウジ

ヤマモモ

ハゼノキ

(メジロがよく食べに来ます)

ヒサカキ

カラサザンショウ

ヒサカキ

アオノクマタケラン

クスノキ

スタジイ

タイミンタチバナ

ヤブニッケイ

カンコノキ

水壺の跡

ネズミモチ

ヒメユズリハ

モチノキ

モチノキ

モチツツジ

木のすき間から浜が見えます。

灯台まであと4分

モチツツジ

地玉(じこく)の浜

赤灯台

タイミンタチバナ

スタジイ

ヤブニッケイ

カンコノキ

水壺の跡

ネズミモチ

ヒメユズリハ

モチノキ

モチノキ

モチツツジ

木のすき間から浜が見えます。

灯台まであと4分

モチツツジ

松尾展望広場



凡例

- 🅑 駐車場
- 🏠 あずまや
- 📄 案内板
- 🔭 展望地
- 🚰 水道
- 🚰 お手洗い
- 📄 自動販売機
- 🛣️ 車道
- 🟢 舗装路
- 🟠 林内の遊歩道
- 🚰 階段

駒ヶ崎灯台

モチツツジ